

学園  
通信

きらら

美郷町立美郷北学園  
平成30年度7月号  
文責：校長 末廣恭雄

梅雨の終わりが近づいているのでしょうか、雷を伴って今年一番の雨が続きます。この時期の雨を「送り梅雨（おくりづゆ）」というそうですが、台風7号とともに梅雨を“送り出す”ことができれば、本格的な夏の到来です。

さて、学園通信「きらら」7月号をお届けいたします。どうぞゆっくりとお楽しみください。ご意見ご感想があれば学校までお寄せください。



## 子どもたちの学力向上を支えます

今年度の美郷北学園の職員研修（全職員を対象とした研修）は、「自立をめざすキャリア教育」を基盤に取り組みます。この研修は、法律（教育基本法第9条）にも義務付けが示されており、絶えず研究と修養に励むことが求められています。つまり、子どもたちと同様に先生方も「学び続けること」が大切にされているわけです。とりわけ日々授業で子どもたちに接している先生方は、時代の要請に応えながら新しい学習指導方法を身に付け、学びを深める努力をしています。

職員研修では、各教科や道徳、特別活動のほか人権教育やICT教育など多様な教育活動に対応した研修を行います。その中の一つに「主題研究」と呼ばれる研究があるのですが、これは各学校ごとにその特色を生かした教育活動を展開するために重点的に主題（テーマ）を決めて実施されるものです。

美郷北学園では、

### 児童生徒の「分かる！できる！」を支える授業・指導の工夫と改善

というテーマのもと、全員の先生方が学力向上を目指しそれぞれの**授業や指導における課題解決を図る「一人一研究」**に取り組みます。授業はもちろん、保健指導や給食指導、学校経営にかかわるすべての教育活動が**「子どもたちの学力向上を含む自立をうながす」**ことを共通認識し実践をとおして検証していきます。この取組は昨年度から継続されています。年度末には、その成果を皆様にもお知らせできると思います。どうぞご期待ください！

先生たちもが  
んばります！



# 進む環境教育の実践

今年度の美郷北学園の大きな取組の一つに「地域に貢献できる環境教育」の推進があることは、この学園通信（5月号）でもお知らせしました。子どもたちの環境問題に対する関心を高め、リサイクル活動や地域貢献活動を展開することによって、自然や郷土を愛する態度と心情を育てる活動を進めています。

実際の取組から1か月ほどが経ち、少しずつその環境が整えられつつあります。ゴミの分別やペットボトルキャップの回収などこれまでも行ってきた活動をさらに充実させたり、「もったいない」意識を高めるためのパネルを展示したり、環境美化を意識したJRC活動を推進したりしています。



【ゴミ分別用バケツ】



【パネル展示】



【ブロック対抗ペット  
ボトルキャップ回収】



【JRC活動の啓発】

8月4日（土）の「うなま地蔵夏祭り」では、会場内のゴミの回収・分別や手作りの「竹灯ろう」を展示する予定です。どうぞご期待ください。

## 行事予定 夏休み

7月22日（日）	中体連県大会～23日
23日（月）	町水泳大会（5・6年）
8月3日（金）	登校日（公民館清掃）
4日（土）	うなま地蔵夏祭り
8日（水）	子ども議会（9年）
20日（月）	登校日（ようこそ先輩）
24日（金）	登校日（町鑑賞教室）
27日（月）	2学期始業式

## 明日のチカラ

「できるか」と聞かれたら、いつでも「もちろん」と返事をするこ  
とだ。それから懸命に  
やり方を見つければよ  
い。

セオドア・ルーズベルト（米）

ホームページをご覧ください

<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/1665/htdocs>  
または、美郷町立美郷北学園 で検索